

**TAKEUCHI**

**2014年2月期  
決算説明資料**

2014年4月23日

「世界初から世界の**TAKEUCHI**へ」

**株式会社 竹内製作所**

**証券コード:6432**

- ▶ **I. 2014年2月期 決算概要**
- ▶ **II. 2015年2月期 見通し**
- ▶ **III. 市場見通し**
- ▶ **IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み**

## ▶▶ ポイント

### (1) 需要は米国の好調に加え、欧州が回復

- 米国の販売台数は50.3%増加(対前年比)
- 欧州は後半回復し、販売台数は2.3%増加(対前年比)
- 連結売上高は30.1%増収(対前年比)

### (2) 数量効果と円安効果、コスト削減で営業利益率が改善

- 数量効果と円安効果で粗利益率は3.1ポイント向上
- 物流費削減などで販管費比率は1.8ポイント改善
- 営業利益は215.7%増益

# I. 14年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

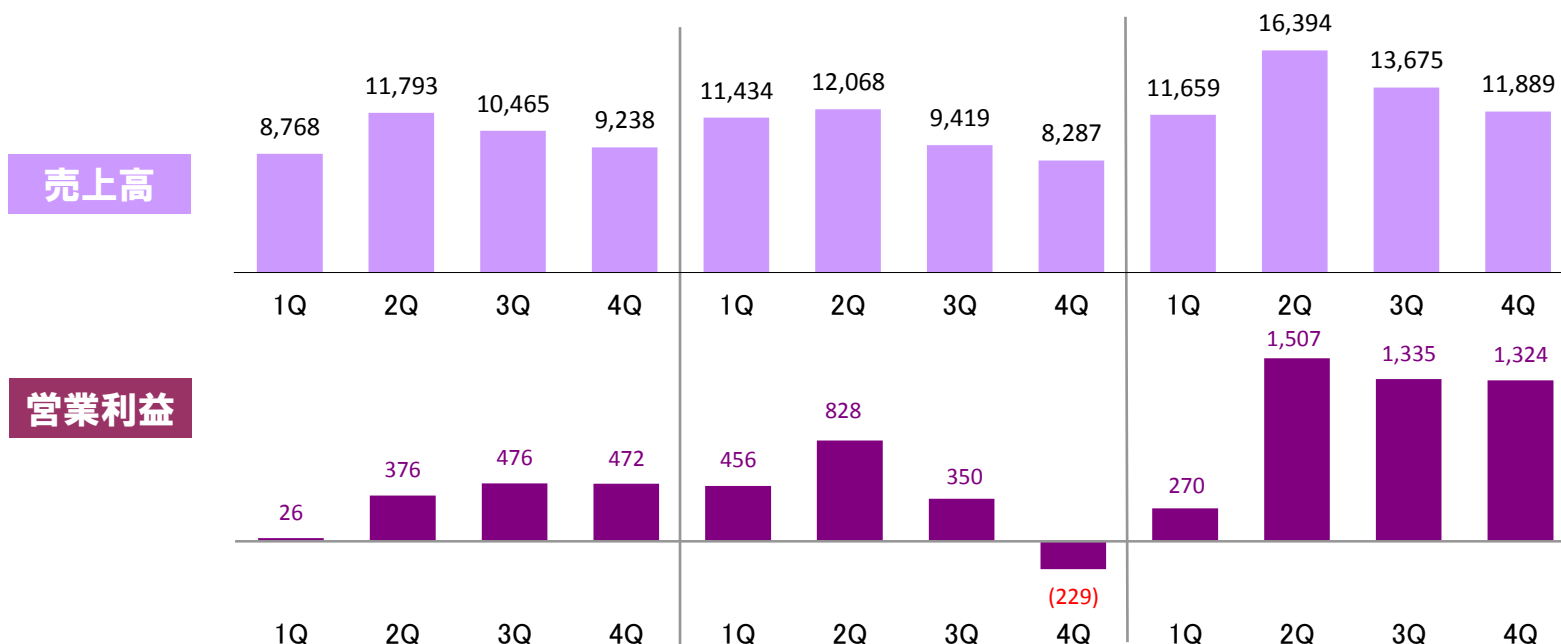
## ▶▶ 連結実績

単位:百万円

	14/2期 実績	13/2期 実績	前年比 伸び率	14/2期 3Q時予想	対3Q予想 増減額
売上高	<b>53,617</b>	41,208	+30.1%	52,000	+1,617
営業利益	<b>4,436</b>	1,405	+215.7%	3,800	+636
経常利益	<b>6,470</b>	2,905	+122.7%	5,200	+1,270
当期利益	<b>4,624</b>	3,322	+39.2%	3,720	+904
1株配当金	<b>16.0円</b> (内記念配3円)	8.0円	+8.0円	13.0円	+3.0円
設備投資額	<b>320</b>	428	▲25.2%		
減価償却費	<b>765</b>	649	+17.9%		
受注高	<b>58,807</b>	39,013	+50.7%		
受注残高	<b>14,025</b>	8,836	+58.7%		

## ▶▶ 四半期毎の売上高・営業利益推移

単位：百万円、%



為替レート	2012年2月期				2013年2月期				2014年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
円/米ドル	82.33	81.23	77.08	78.04	81.34	78.86	78.64	86.36	94.51	99.37	98.21	103.27
円/英ポンド	131.81	133.47	124.09	122.58	129.97	122.64	125.56	137.98	145.34	151.64	156.80	170.00
円/ユーロ	113.77	118.29	108.74	105.06	108.56	97.42	100.75	118.33	123.08	130.47	132.25	141.04
円/人民元	12.52	12.52	12.05	12.31	12.66	12.65	12.32	13.30	14.90	16.15	16.02	16.80

## ▶▶ 地域別売上高

単位：百万円

	14/2期		13/2期		前年比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日 本	2,640	4.9%	2,119	5.1%	+522
北 米	23,139	43.2%	13,625	33.1%	+9,515
欧 州	23,609	44.0%	21,539	52.3%	+2,071
ア ジ ア	2,586	4.8%	2,456	6.0%	+131
そ の 他	1,641	3.1%	1,470	3.6%	+171
売 上 高	53,617	100.0%	41,208	100.0%	+12,409
海 外 売 上 高	50,977	95.1%	39,089	94.9%	+11,887

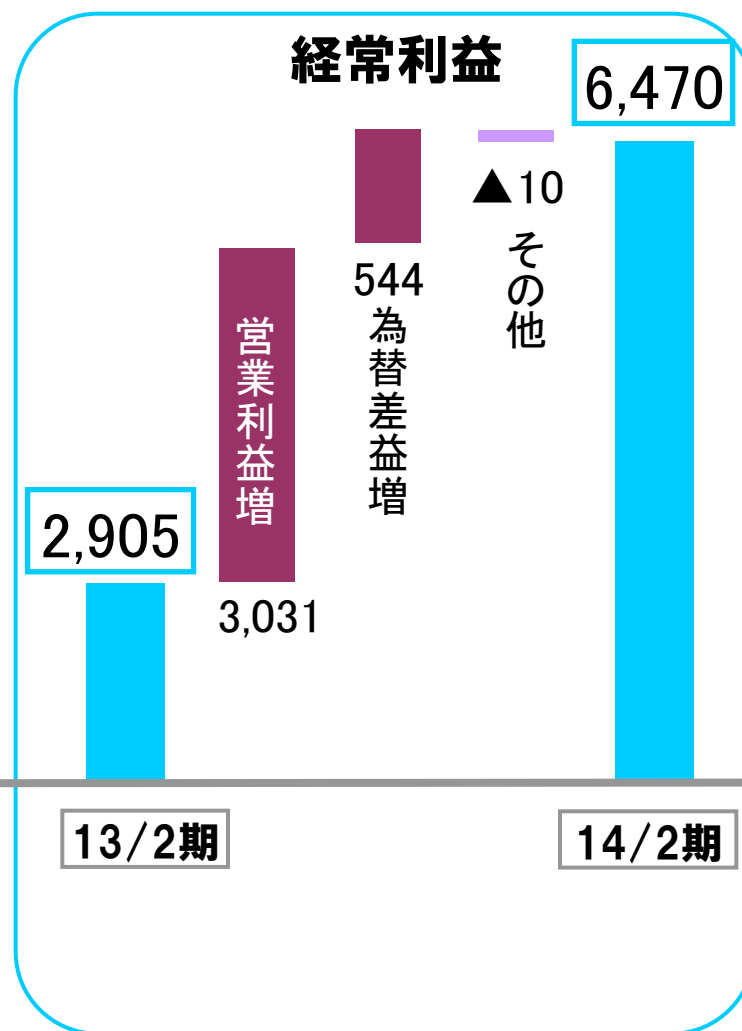
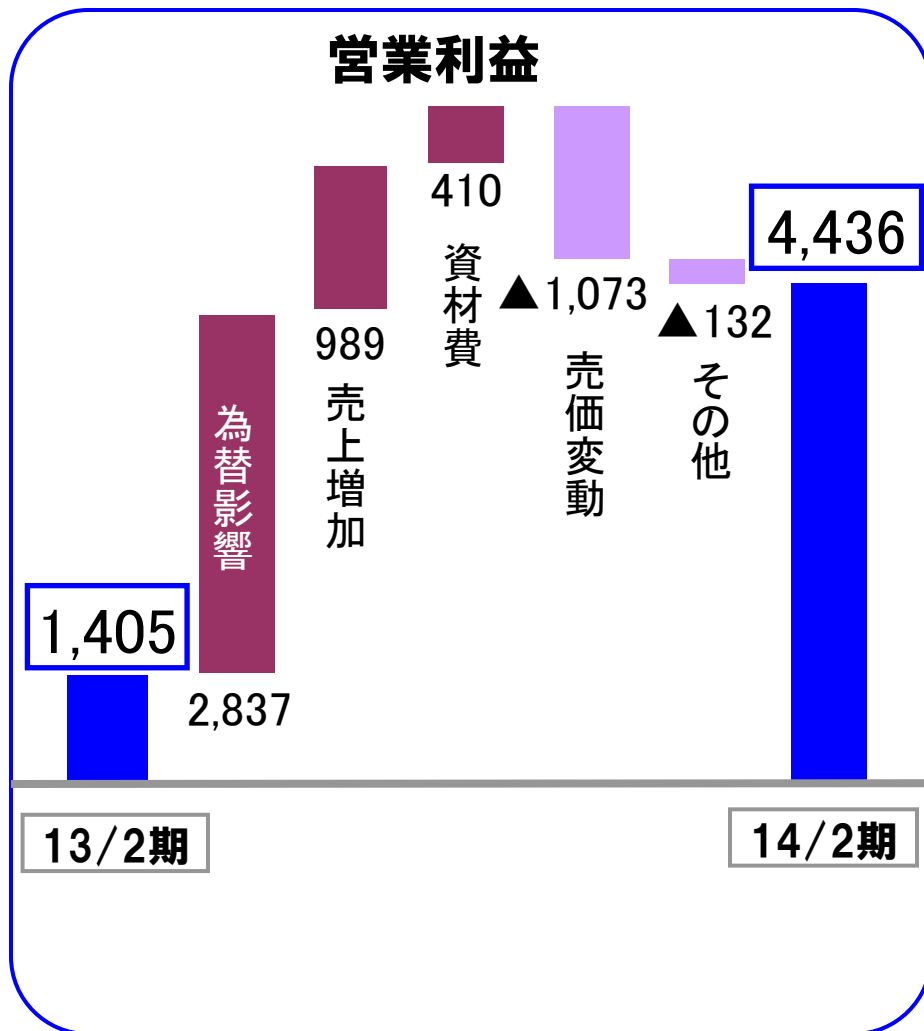
## ▶▶ 所在地別セグメント情報

単位:百万円

		14/2期	13/2期	前年比 増減額
日 本	売 上 高	19,616	18,878	+737
	セグメント利益	5,410	2,207	+3,203
米 国	売 上 高	23,163	13,669	+9,493
	セグメント利益	741	662	+78
英 国	売 上 高	5,411	4,123	+1,287
	セグメント利益	197	152	+45
フランス	売 上 高	2,868	2,142	+725
	セグメント利益	27	▲30	+57
中 国	売 上 高	2,558	2,393	+164
	セグメント利益	▲77	▲463	+385

## ▶▶ 連結損益増減要因

単位:百万円





# I. 14年2月期決算概要

**TAKEUCHI**

## ▶▶ 連結貸借対照表

単位:百万円

	14/2月末	構成比	13/2月末	構成比	増減額
流動資産	44,574	84.9%	43,027	84.3%	+1,547
現金及び預金	9,734		3,800		+5,933
受取手形及び売掛金	17,872		24,061		▲6,189
たな卸資産	15,246		14,675		+571
固定資産	7,898	15.1%	8,024	15.7%	▲126
資産合計	52,472	100.0%	51,051	100.0%	+1,420
流動負債	14,874	28.3%	19,836	38.9%	▲4,961
支払手形及び買掛金	10,317		16,031		▲5,713
短期借入金(1年内長期含む)	300		1,609		▲1,309
固定負債	665	1.3%	659	1.3%	+5
負債合計	15,540	29.6%	20,496	40.1%	▲4,956
純資産合計	36,931	70.4%	30,554	59.9%	+6,376
負債純資産合計	52,472	100.0%	51,051	100.0%	+1,420

## ▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	14/2期	13/2期
営業キャッシュフロー	8,207	▲2,252
投資キャッシュフロー	▲386	▲303
財務キャッシュフロー	▲1,488	▲1,142
現金及び同等物に係る換算差額	▲481	328
現金及び同等物の増減額	5,851	▲3,370
現金及び同等物の期末残高	9,139	3,287

### ▶▶ 業績見通しのポイント

#### (1) 需要動向

- 米国市場は、住宅投資の改善続き、需要増加を予想
- 欧州市場は、債務問題の緊張が和らぎつつあり、需要は増加を予想
- 新興国市場は一部地域で増加するものの、概ね横ばい

#### (2) 販売台数の見通し

- 販売台数は7.4%増加

#### (3) 利益見通し

- 販売台数増加などにより粗利益率は2.0ポイント向上
- 営業利益は、35.2%増益の予想

## ▶▶ 地域別売上高予想

単位:百万円

	15/2期		14/2期		前年比 増減額
	予想	構成比	実績	構成比	
日 本	1,430	2.4%	2,640	4.9%	▲1,211
北 米	24,734	41.5%	23,139	43.2%	+1,594
欧 州	29,383	49.3%	23,609	44.0%	+5,773
ア ジ ア	2,444	4.1%	2,586	4.8%	▲142
そ の 他	1,609	2.7%	1,641	3.1%	▲32
売 上 高	59,600	100.0%	53,617	100.0%	+5,982

## II. 15年2月期の見通しについて

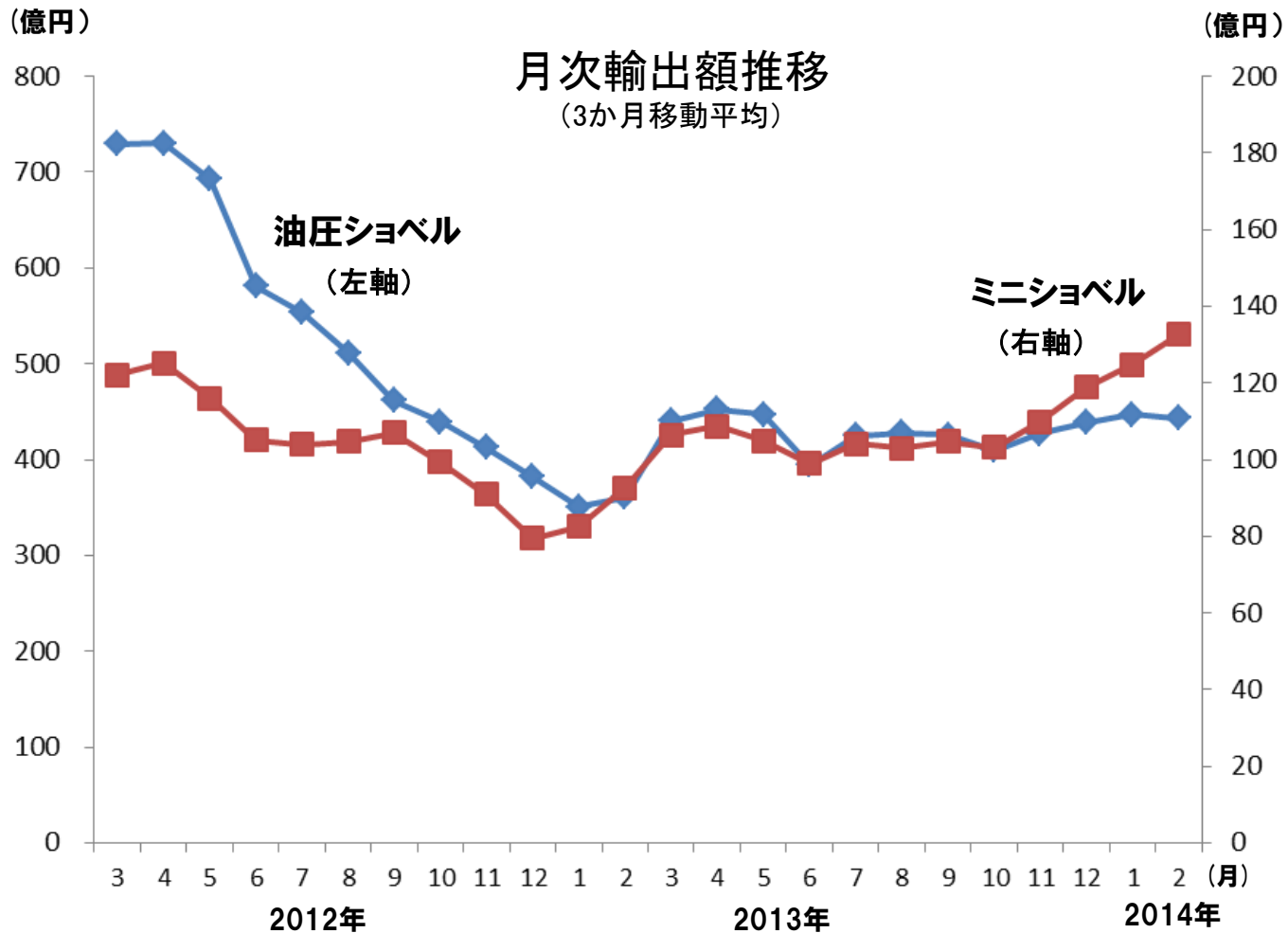
### ▶▶ 連結業績

単位：百万円

	15/2期予想				14/2期
	通期予想	伸び率	上期予想	下期予想	実績
売上高	59,600	+11.2%	35,200	24,400	53,617
営業利益	6,000	+35.2%	3,900	2,100	4,436
経常利益	5,750	▲11.1%	3,640	2,110	6,470
当期利益	3,500	▲24.3%	2,200	1,300	4,624
設備投資額	990	+209.3%	674	316	320
減価償却費	980	+28.1%	384	596	765

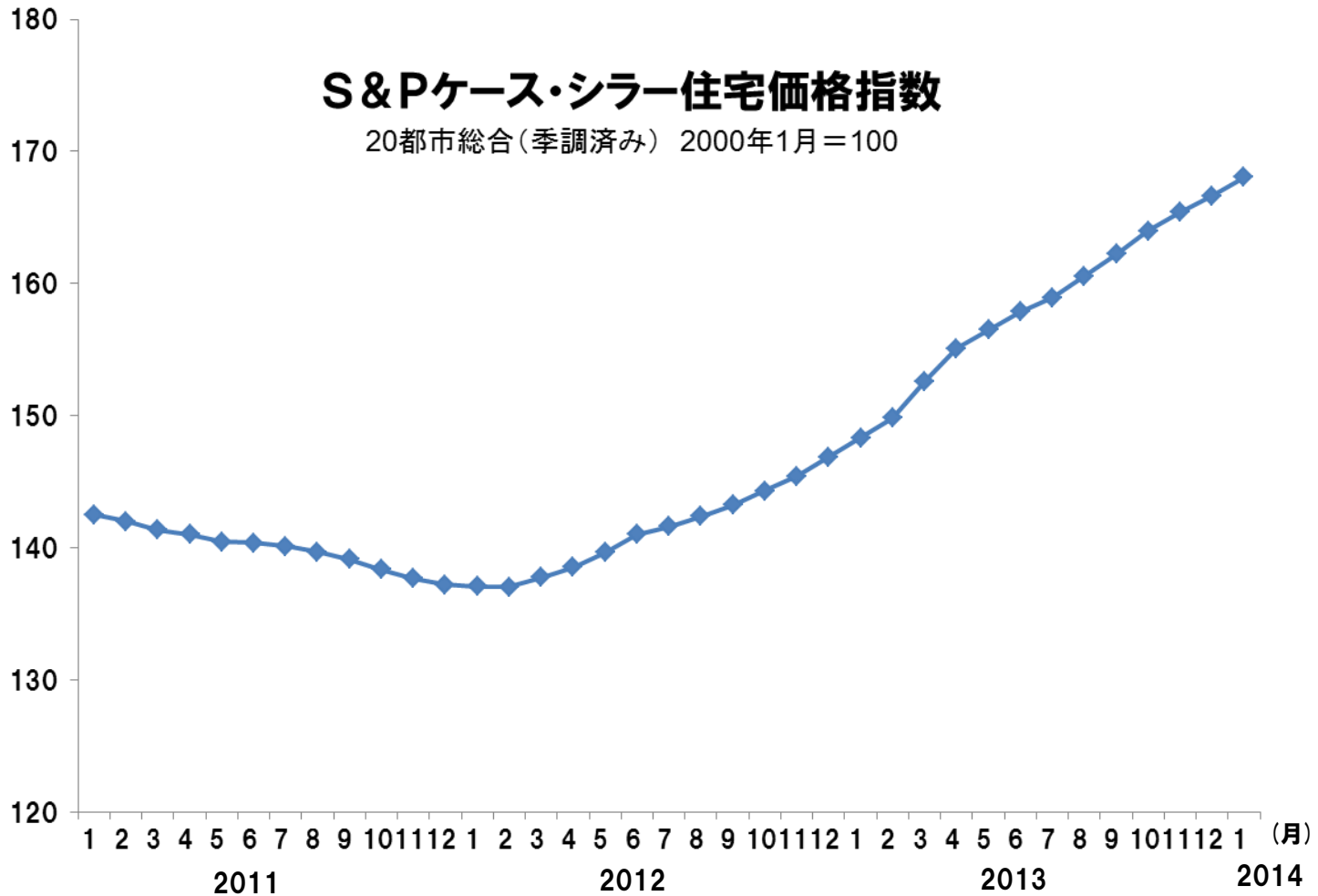
為替レート	通期前提	14/2期実績
円/米ドル	98.00	99.23
円/英ポンド	160.00	157.29
円/ユーロ	135.00	131.02
円/人民元	16.10	15.97

## ▶▶ 現況：回復する掘削機械輸出



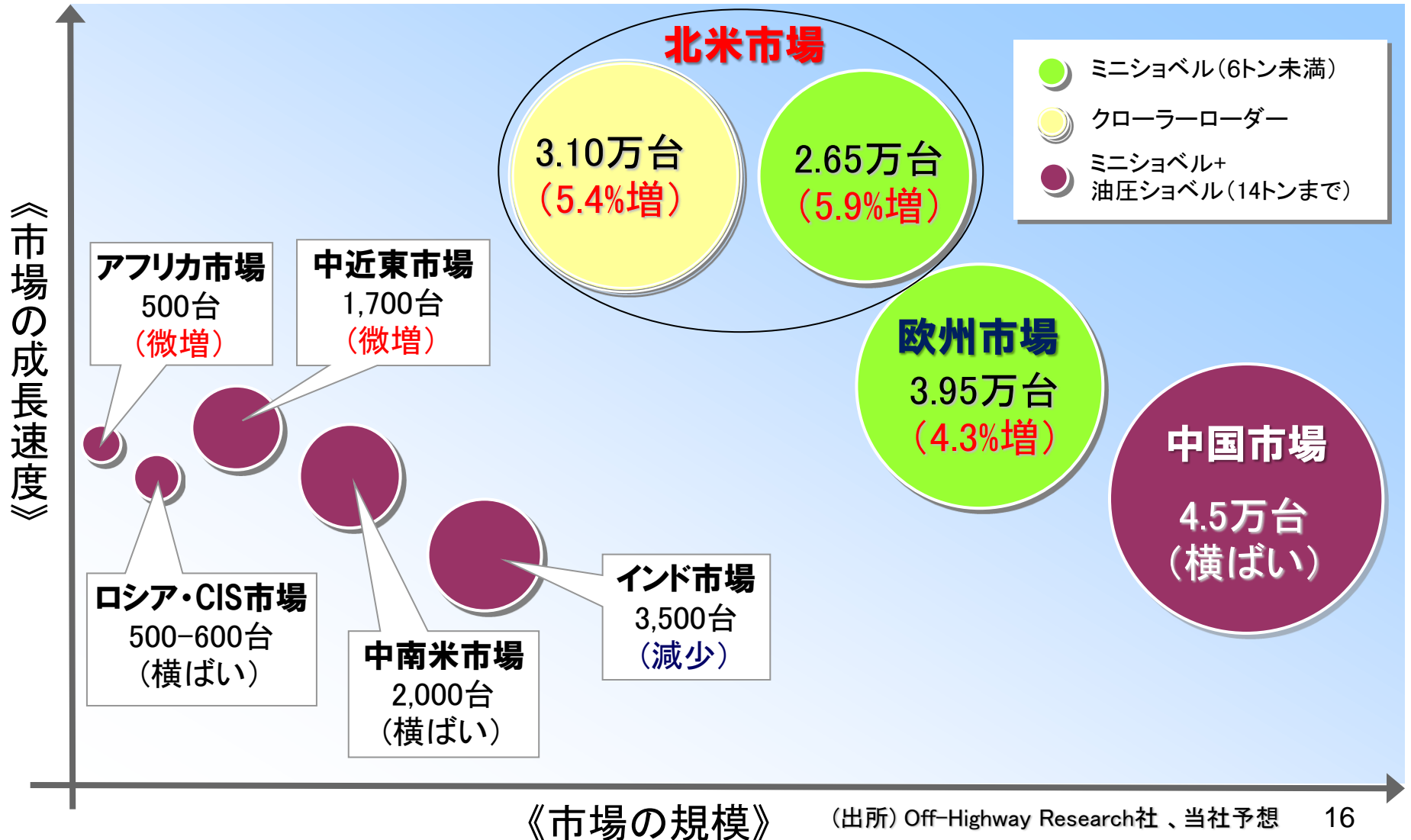
(出所)日本建設機械工業会

## ▶▶ 現況:改善傾向続く米国の住宅投資環境



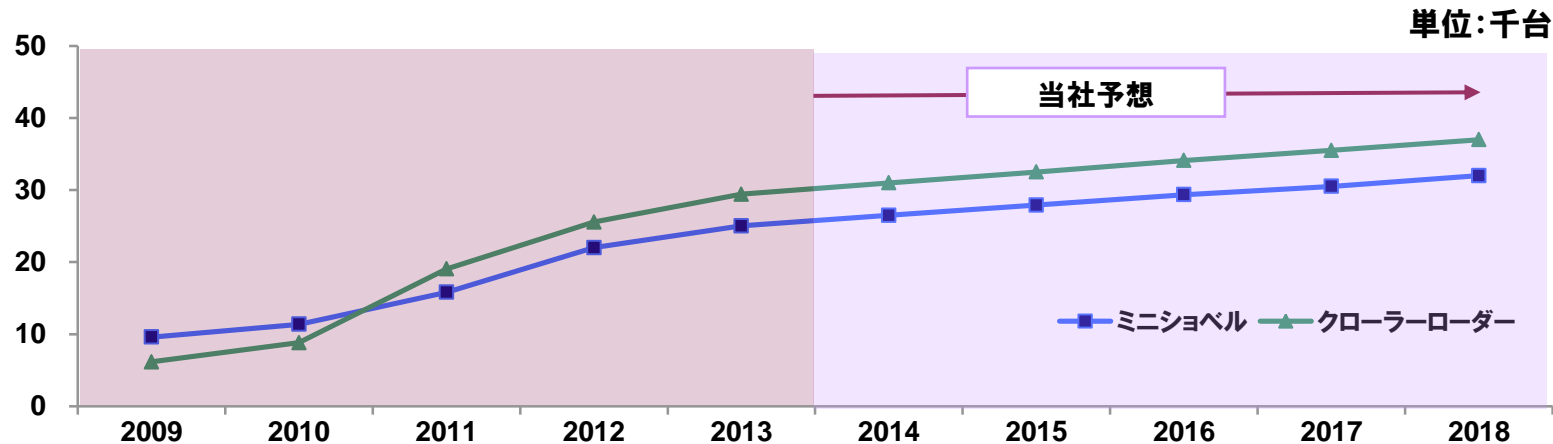
(出所)S&P

## ▶▶ 2014年の市場見通し概観 (カッコ内は前年比伸び率)



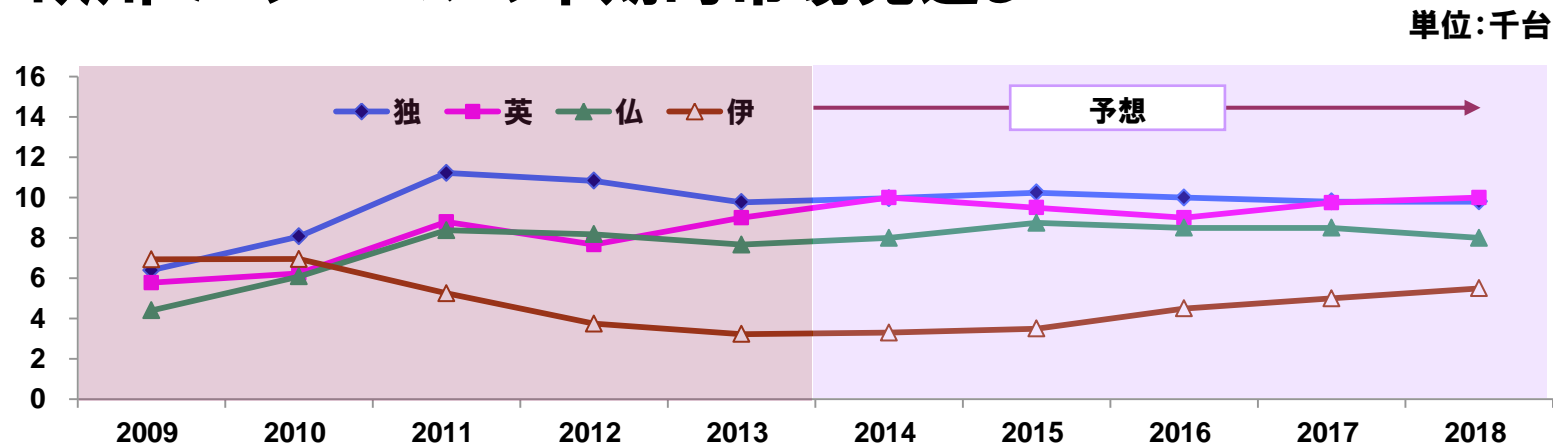


## ▶▶ 北米ミニショベル・クローラーローダーの中期市場見通し



(出所)実績は工業会(AEM)、予想は当社。

## ▶▶ 欧州ミニショベルの中期市場見通し



(出所)実績、予想ともOff-Highway Research社。

## ▶▶ 中長期的な経営戦略

- 製品開発強化
- 新興国市場開拓
- 生産性向上
- 業務の標準化及びITの再構築

# IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

## 1. 開発戦略（製品開発の強化）

- 新機種の開発、モデルチェンジ
- 出力帯別規制に合わせた第4次排気ガス規制対応



新機種  
TB215R

2013/6  
発売



新機種  
TB295W

2013/7  
発売



新機種  
TB216

2013/8  
発売

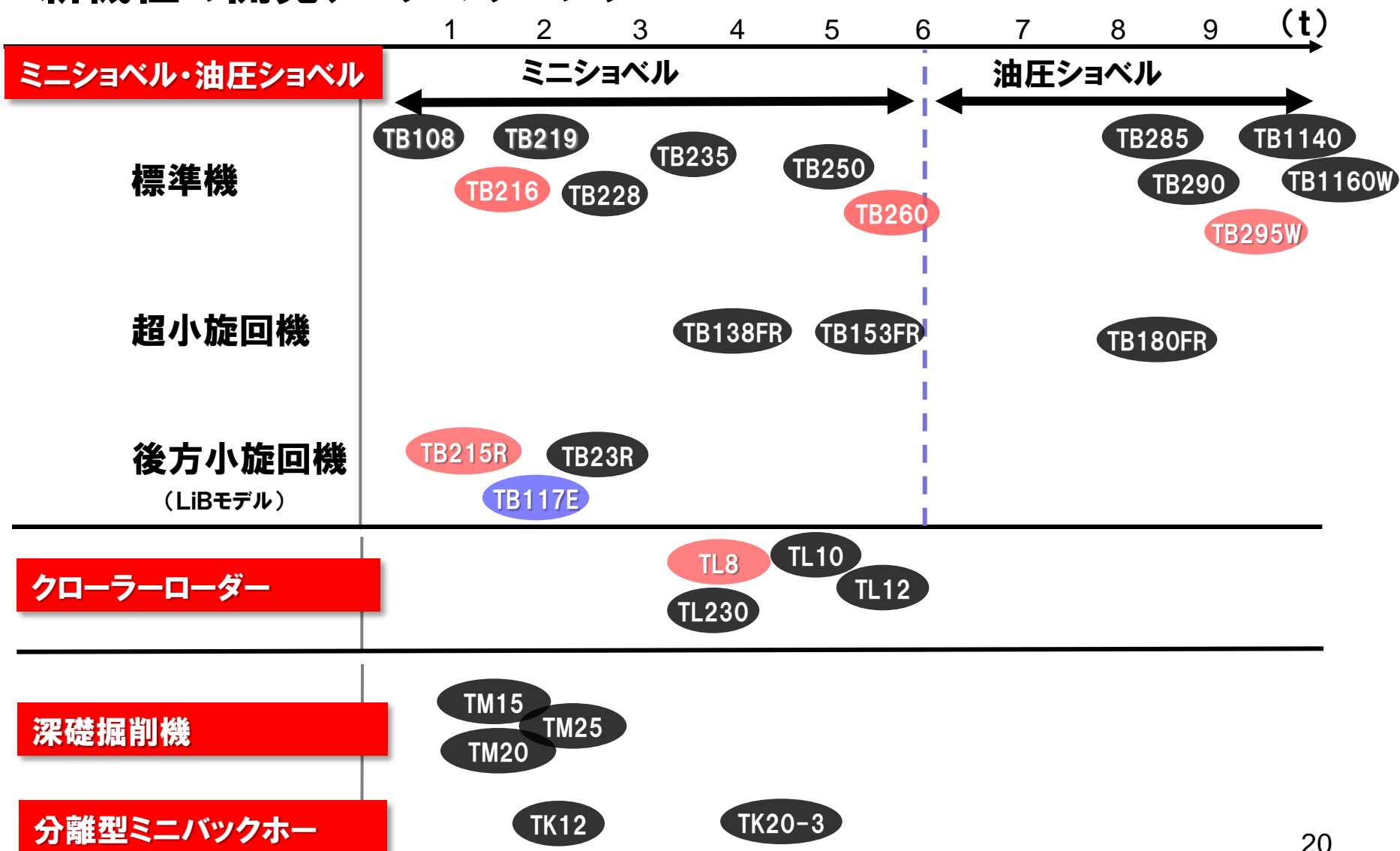


新機種  
TL8

2014/3  
発売

# IV. 中長期的な経営戦略と重点取組

## 新機種の開発、モデルチェンジ



## 2. 販売戦略

### (1) 先進国市場対応

- ・製品ラインアップの強化とディーラー網の拡充

### (2) 新興国市場開拓

- ① 重点地域(東南アジア、中東、南米、アフリカ)
- ② 商社との連携
- ③ 低コスト機の投入(中国現地生産機の最大活用)

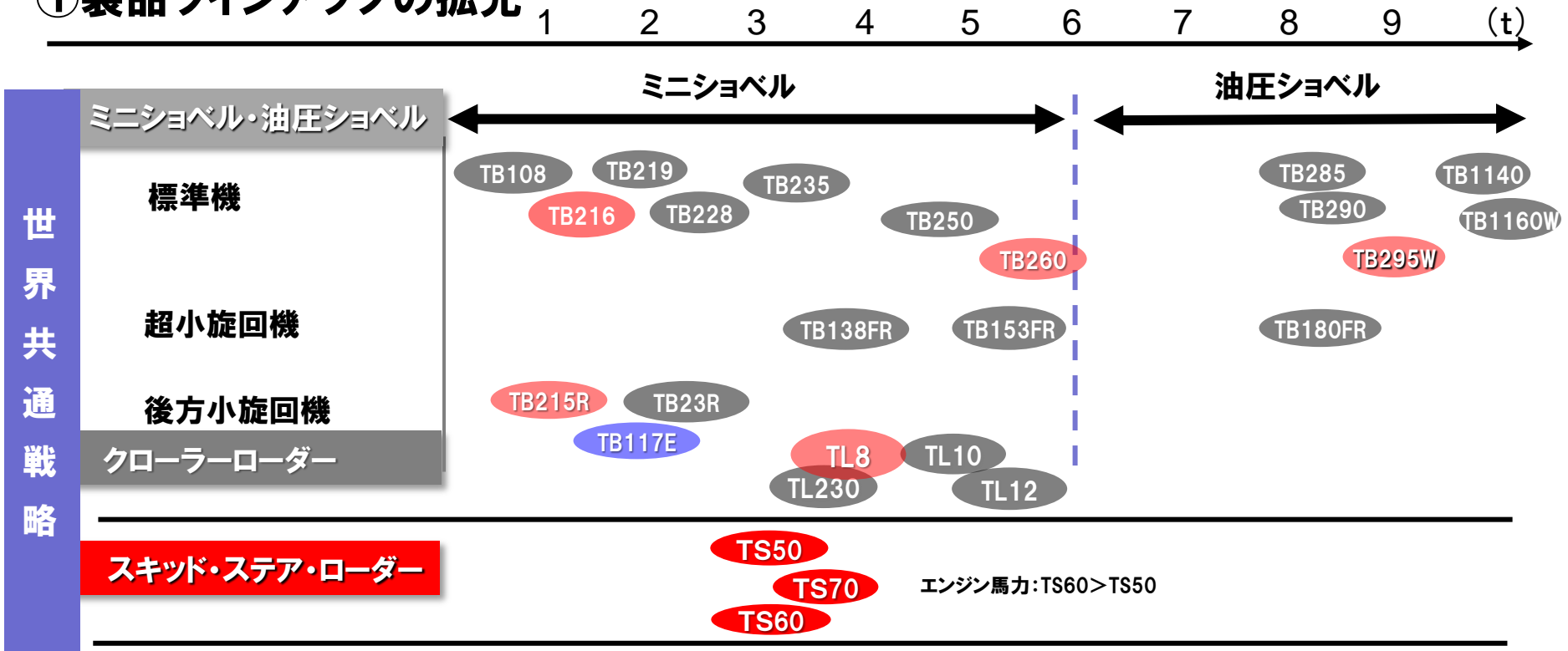
### (3) 補修部品の販売強化

- ・第2純正部品の拡大など補修部品の販売強化

# IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み

## (1) 先進国販売戦略

### ① 製品ラインアップの拡充



### ② ディーラー網の拡充(米国)

- ・ディーラー数は10%増加(対前年比)
- ・ディーラーのロケーション数は14%増加(対前年比)

## 「CONEXPO 2014」に出展

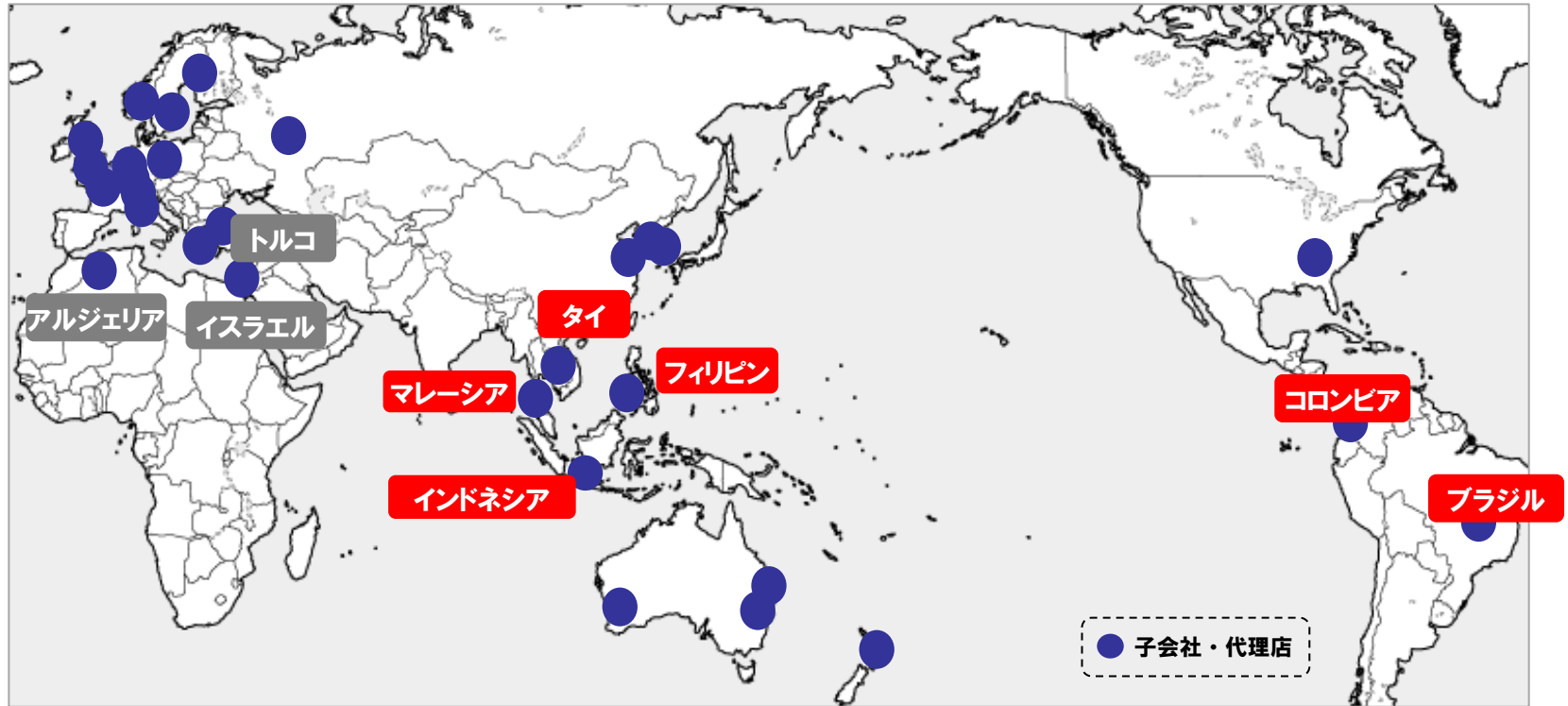
2014年3月4～8日(米国:ラスベガス)



「CONEXPO」は、  
「BAUMA」(ドイツ)や「INTERMAT」(フランス)と並び、  
世界3大建設機械見本市の一つで、3年に一度開催  
されるアメリカ建設機械業界最大のイベントです。

# IV. 中長期的な経営戦略と重点取組み **TAKEUCHI**

## (2)新興国の開拓状況



## (3)補修部品の販売強化策の成果

・部品売上高は、20.7%増加(対前年比)



## 3. 生産性向上

本社工場：加工設備導入、機械稼働率向上

戸倉工場：溶断能力向上、内作取込みによる付加価値増加

青島工場：本社工場への部品納入拠点として活用

製缶品5品種(12/2期)→19品種(13/2期)→26品種(14/2期)



竹内工程機械(青島)  
有限公司

## 物流費の削減

- コンテナ詰め社内対応  
(2012/8期平均:21.3%→2013/2期平均:48.2%→2014/2期平均:55.5%)
- 国内物流の見直し

## 4. 業務変革

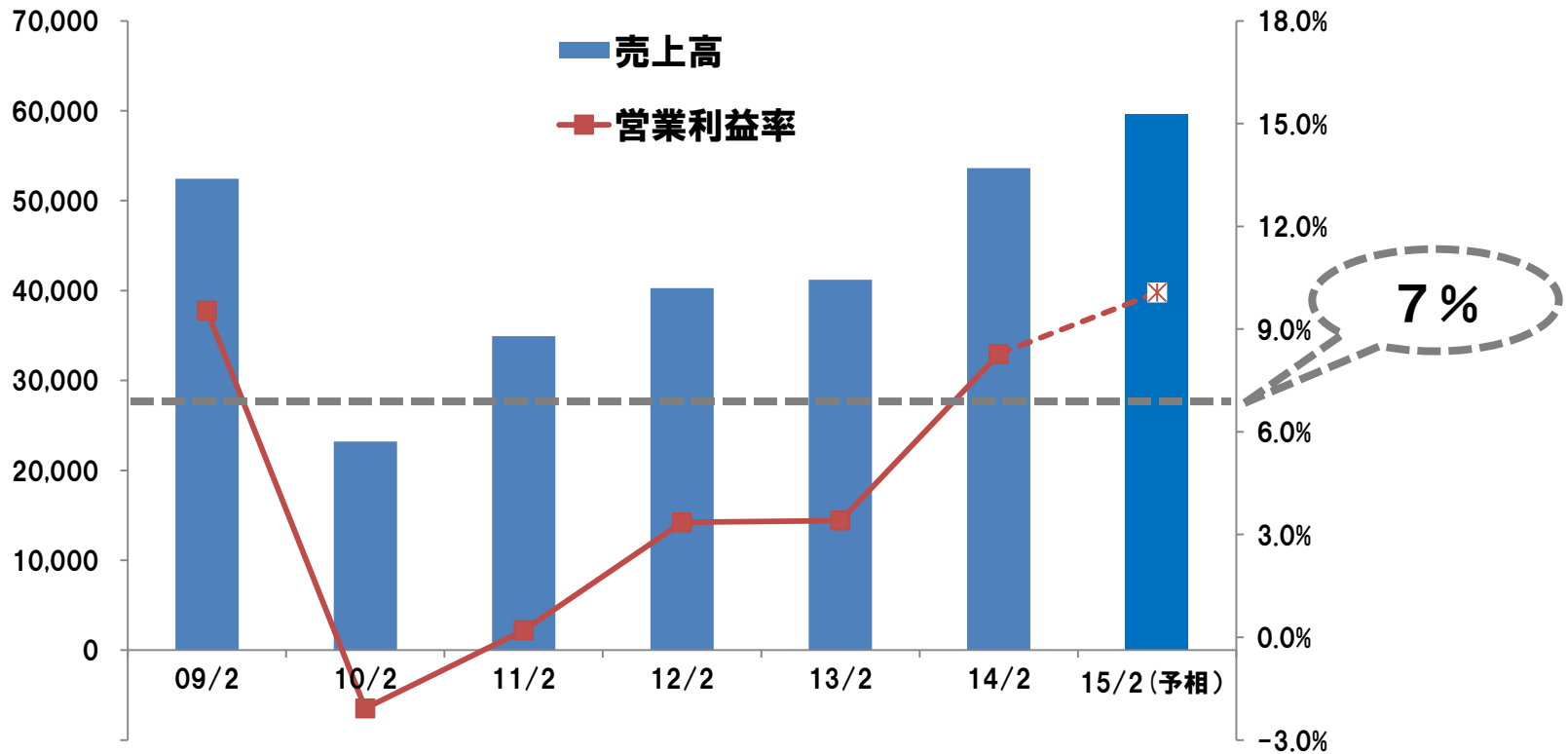
- 業務の標準化とIT化による効率向上



社内でのコンテナ詰め

## 当社目標の経営指数

### 売上高営業利益率7%以上の維持



## お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所  
総務部

TEL:0268-81-1100

FAX:0268-81-1127

E-mail: [ir@takeuchi-mfg.com](mailto:ir@takeuchi-mfg.com)

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。